

いなぎ市民活動フォーラム 2009

ずっと住みたいまち 稲城をつくろう

- 日 時 平成21年11月21日(土)
午前10時～午後2時
- 会 場 稲城市地域振興プラザ4F
- 参加費 500円(資料代と昼の軽食代を含みます)
- 申込み 11月10日(火)までに
下記サポートセンターへお申込みください
- 主 催 NPO法人市民活動サポートセンターいなぎ

【プログラム】

第1部「パネルディスカッション」

テーマ「ずっと住みたいまち稲城をつくろう」

各分野で活躍しているパネラーが活動内容やまちづくりのビジョンを語り合います。パネラーとしては、市内の教育、福祉、環境、文化・スポーツの団体で活動している方を予定しています。

第2部「分科会」「全体会」

「教育」「福祉」「環境」「文化・スポーツ」の分科会に分かれて、各分野における活動団体の課題の解決策やまちづくりの提案を出し合い、協働のまちづくりの視点から話し合います。話し合いの内容は、分科会ごとにまとめて発表し合います。

※昼食を食べながらの交流会も予定しています。

自分が暮らす町。家族が暮らす町。みんなの知恵と絆で新しい稲城のまちづくりを話し合いませんか。

今回は、福祉・教育・環境・文化とスポーツの各分野で活躍している皆さんに参加していただき、市民と行政の協働による新しいまちづくりを考えてみます。ぜひお出かけください。

インターネットには楽しいブログがいろいろあります。しかも「ホームページよりも簡単につくれて更新が楽」とか「団体やサークルの情報発信などの役にたつ」などのメリットもたくさんあります。

そこで、サポートセンターでは文字入力やインターネットの閲覧ができる方を対象に、ブログの作り方の講座を開催することにしました。今回は、パソコン楽らくクラブのみなさん（3ページ参照）から丁寧に教えていただけますので安心してご参加ください。

■日時／10月29日（木） 13:30～15:30

11月 5日（木） 13:30～15:30

（2回連続の講座です）

■場 所／中央公民館4階展示室（今回は地域振興プラザではありません）

■持ち物／筆記用具

※パソコンは設置されたものを使用しますが、慣れたものを使いたい方は持参してください。

■参加費／サポートセンター会員300円（各回）

会員以外500円（各回）

■講 師／パソコン楽らくクラブのみなさん

■申込み期限／10月20日（火）

（期限が過ぎても空きがあれば申し込めますのでお気軽にお問い合わせください）

■定 員／15名

■対 象／ワードでの文字入力やインターネットの閲覧ができる方

◎その他

- ・団体の役員や事務担当者のスキルアップにぜひこの機会を活用してください。
- ・申込みの時に、パソコンの習熟度をお伺いすることがあります。習熟度に合わせた講座進行をするためですのでご了承ください。

【主 催】 NPO 法人市民活動サポートセンターいなぎ

【申込先】 市民活動サポートセンター（市役所協働推進課内）

電話 042-378-2112 FAX 042-378-6971

八月

「絶対ダメ！薬物乱用」

話し手 橋本 定夫さん

稲城で薬物乱用防止に取り組んでいる橋本さんの講演の後、夜回り先生こと水谷修先生による中高生見回り活動、薬物乱用者の立ち直りをサポートしている《ダルク》の活動のビデオを見ました。

※ダルク：薬物などの病的依存からの回復を図ることを目的とする施設

インターネットなどの普及により薬物の入手が可能になり薬物依存症の怖さを知らない中高生に出回っているという話は本当に怖いと思います。

国からの指導もあり高校でも薬物の怖さを知らせる授業を行うようになってきているとのことでした。

依存症になってしまっただけからの回復は非常に困難であり子どもたちが薬物に手を出さないようにするために、手を出す前にとめる方法（教育）が大切だと思いました。（中村）

九月

「足下の歴史の重み」

話し手：渡辺 賢二さん

稲城は自然環境に恵まれた町だというのは市民の共通認識、でも歴史的にも勝れた遺産の宝庫であることは意外と知られていないのではないのでしょうか。

大規模な開発が進む中で多くの歴史的遺産が相次いで発掘・発見されてきているそうです。例えば若葉台の縄文遺跡（縄文時代中期後半 約4,500年前）から発見された91体もの土偶などです。それら土偶は原始社会の人たちの安産や生産向上の願いを示すシンボルであり、ここに工房があった可能性が大きいということでした。

他にも、民話の里坂浜は稲荷信仰の部落でもあったこと、大丸の「瓦谷戸窯跡」の側壁からは3頭の「馬」の線刻画が発見され、日本で初めてのものとして注目されたことなど、先生のお話を伺って、「歴史の魅力と楽しみ」の至福を味わうことができ、こうした貴重な文化遺産を大切に守っていこうとの気持ちを新たにしました。（石田）

ガンバってます 24



▲視覚障がい者のPC実演風景

取材日は、丁度「パソコン何でも相談」の活動日。約束の10時、代表の藤田和夫さんに「お入り下さい」と言われたけれど、会場は既に熱気ムンムン。圧倒されて足を踏み入れることが出来ないほどでした。

10月からハンディキャップ
パソコン教室も開講

パソコン楽らくクラブ

代表 藤田和夫さん

ボランティアグループとして設立しました

市民ニーズに対応した事業を開催しており、年間の参加者は、延べ約900名とか。

受講生の一人に感想を聞くと「習い始めて1年2ヶ月。毎月7回通っている。講師がその都度異なるので戸惑うこともあるが、いろんな講師に教わる良さもある。家族の励ましと、購入した自分のパソコンへの愛情から、今ではとても授業が楽しい」と愛用のピンクのパソコンを撫でながら話してくれました。

数年前からは目の不自由な方への「パソコン操作普及」活動をしていて10月開館予定のiプラザでは、ハンディキャップパソコン教室を開講する予定とか。障がい者やそのご家族、その他ご興味のある方には是非見学をお勧めします。

講師も受講生も高齢者が多い様に見受けられましたが、元気な高齢者に、現代的な知的過ごし方、楽しみ方の普及は本当に素晴らしい、今後益々の発展を期待したいと思いました。

（佐藤）

※「パソコン楽らくクラブ」への申込み・問合せは：中央公民館 電話377-2121へ

どちらも午後7時～9時

金曜サロンスペシャル

■ 11月6日（金）

- ・話し手 山下 英二さん
（北海道大空町町長）
- ・テーマ「まちづくりについて
自由におしゃべりしましょう」

稲城市と大空町との交流は、旧女満別町時代の昭和63年、旧女満別町出身で元都立高校校長の故河野全一さんの紹介で、子どもたちの作品交流が始まったことがきっかけです。

平成3年11月に姉妹都市となり、市民レベルでの交流が続いています。大空町のまちづくりや魅力についてお話していただきます。

■ 12月4日（金）

- ・話し手 小林 攻洋さん
（サポートセンター理事）
- ・テーマ「コレクティブな暮らし方って？」

賃貸アパートでありながら、共有のコモンスペース（台所兼居間）をもち、多世帯が他人以上で家族未満の暮らし方をするのでできるのがコレクティブハウスです。

そんなコレクティブな暮らし方について、大家として自ら関わった体験談を交えながら話をしていただきます。

稲城市民祭に 今年も出展します

10月24日（土）・25（日）の1のまち稲城市民祭に今年もサポートセンターが出展します。

来場の折りはぜひお寄りください。

また、登録団体でチラシなどをブースに置きたい場合はお気軽にお申し出ください。



第5回 子育て応援フェスタ 2009 「ひとりじゃないよ みんながいるよ」

～うたって・あそんで・えがお
のあふれるひととき～

- 日時：11月28日（土）
10時～12時
- 会場：稲城市地域振興プラザ4F
- 講師：平尾保育園
園長 田中 雄二先生
- 費用：無料
★申込みはいりませんのでご自由
にご参加ください。

栃木県調査研究実行委員会が サポートセンターを視察

栃木県における地域ボランティア活動支援センターのあり方に関する調査研究のため、同調査研究実行委員会のメンバーお二人が、さる9月15日に当市の市民活動サポートセンターを訪れました。



協働推進課の課長、係長及びサポートセンターの理事数人が対応し、活発に意見交換をすることができました。

NPO 法人「市民活動サポートセンターいなぎ」の会員を募集しています・・・年会費3,000円